



キャリアナビゲーター通信 Vol.15

つくる(作る・造る・創る)仕事体験、事後学習のプレゼンを実施しました！

2月9日(木)の5限と10日(金)の6限に、「つくる(作る・造る・創る)仕事体験」の事後学習として、当日講師の方から聞いた話や体験したことを基に体験した仕事の魅力をプレゼン形式で発表しました。

今回の事後学習の

MISSION

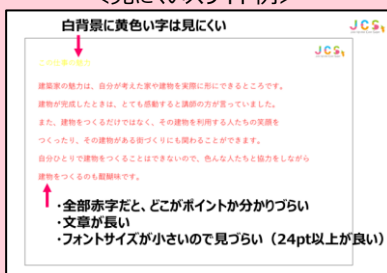
つくる仕事の魅力PR (宣伝) 隊になり、「**つくる仕事**」の魅力を発信する！

プレゼンの条件：1チーム3分で発表。①この仕事は「○○(やりがいなど)」をついている！②この仕事の魅力、の2点は必ず入れる。

プレゼン資料をつくる前に、**どうやったら見やすいスライドをつくることができるか？**を考えるために、右の2種類のスライドを比較し、注意すべきポイントを確認しました。



<見にくいスライド例>



<見やすいスライド例>



<役割分担して作業する様子>



<パワーポイントを編集する様子>

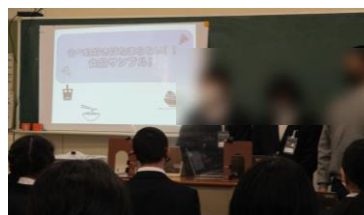


体験ごとチームに分かれてパワーポイントでプレゼン資料作成。

プレゼン当日



大事なポイントは、黄色のマーカで目立つようにして見て分かりやすい！



原稿ばかり見ずに聞き手の方も見て、はきはき発表できていました！



最初に、もくじのように、今回話すことがまとめてあって、分かりやすい！



クイズや問いかけがあり、聞き手の興味を引く工夫が素晴らしい！

「パワーポイント触るの、初めてなんです。」と多くの方が話してくれましたが、そうとは思えないほど、工夫された構成・デザインのものばかりで、すばらしかったです！

聞いたことをまとめるだけでなく、「これを伝えたい！」というメッセージが込められたスライドが多く、皆さんの想いがよく伝わるプレゼンでした。



キャリアナビのひとこと

事後学習を終えての振り返り

- ◆ プレゼン資料づくりから発表当日までを振り返って、**どんな力・スキルが付いた・伸びた**と思いますか？

↓このような意見が多く挙がりました！



班の人との**コミュニケーションスキル**

伝えたいことを**分かりやすく伝える力**

長い文章を**簡単に分かりやすくまとめる力**

スライドや原稿などの**資料をつくる力**

仲間と協力したり、**意見を出し合う力**

人の心をつかむ力

人前で**落ち着いて話をする力**

あまり話したことがない人とも**協力できる力**

- ◆ **自分の将来**について思ったことや考えたこと、**率直な気持ち**を書きましょう。

私は3DCGを体験して、他の仕事の人たちの発表を聞いたことで、どれくらいいい仕事なのかは思わなかったけれど、「これからは」という明確な夢は定まりませんでした。ただ、どの仕事の人にもお客様の笑顔が一番大切にしてたので、人と笑顔にできて、自分も楽しんでできる仕事をやりたいなと思いました。— この世界に「これ」っていうワードを知りたいので、世界に「これ」のものをつくれる仕事としてみたいな感じでした。

今回の体験で、自分が将来どんな仕事に就くか分からないうえに、アパレルに関心した仕事体験した仕事に必要な能力は、必ず他の仕事に役立ちました。例えば体験した靴箱には先達の器用さも大切だけれど、人の思いを組みとることも大切だから偉かったと思います。

小さい頃から好きだった物について仕事体験し、将来自分が好きな事をしたいという気持ちからよりいっそう強くなる学習などを考えました。自分は絵を描くことが本当に好きでなれたこと、あつたため実感でき、将来グラフィックデザイナーではなくてもまた似た仕事に就きたいと思いました。

将来の夢は決まってるけれど、他の仕事のこと、
知っているのも悪くないです。
どの仕事も好きじゃないから迷う
競争相手の職に就きたいから今のうちから準備しておくことはあり

事後学習が終わり、これで作る仕事体験はすべて終わりましたね。しかし、時々でもいいので、将来のことや仕事のことを考えて、アンテナをはり続けられると、必要な情報がたくさん目に留まるようになります。

3年生では、卒業後の進路を自分で決めます。少しでも自分らしくいい進路選択ができるよう、応援しています！



キャリアナビのひとこと

- ◆ 今後の中学校生活で、**どのようなことに取り組みたい**と思いますか？

やってみたいと思うことがあるから、何言われても、やればいいから、ぜひやらせてほしいなと思った。
先生や友達、家族や近所の人などたくさん関わることに取り組みたいと思った。

いろんなことにきずんをいだけ、こたえ考えること。
いろんな知識がたつ。

授業などで、もっときこくきこく

勉強がえげつない

話したことない人と話す

「国語」「数学」「英語」など、具体的な教科を挙げていた人も多かったです！

保護者の皆様へ

今回の体験学習をきっかけに、お子さん一人ひとりが真剣に自分の将来について考えることができました。

ご家庭の中でも、体験前後での考えの変化を聞いていただいたり、保護者の方のお仕事に対する考え(やりがいや大変なところなど)もお話いただけると、さらに深く自分の将来について見つめることができます。ぜひ、お話ししてみてください！

この通信の
カラー版はこちら
(2月号③)

